

**令和3年度**

# **事業報告書**

**社会福祉法人**

**鹿沼市社会福祉協議会**

# 目次

## I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立	
(1) 会議等の開催 .....	1
(2) 会員制度の勸奨 .....	2
(3) 不祥事への対応 .....	3
2. 効率的で適正な施設管理・運営	
(1) 総合福祉センターの管理運営 .....	3

## II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化	
(1) 社協だよりの発行 .....	5
(2) 第48回鹿沼市社会福祉大会の開催 .....	6
(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞 .....	6
(4) 米寿記念品の贈呈 .....	6
(5) 啓発物品の配布等 .....	6
2. 関連団体等の育成と連携	
(1) 福祉団体等の主体的な活動促進 .....	6
(2) 市関係部署との連携 .....	7
3. 支援を要する世帯等への支援	
(1) 生活福祉資金貸付実績 .....	7
(2) 社会福祉金庫貸付実績 .....	8
(3) 赤い羽根一時給付金 .....	8
(4) 災害等見舞金支給実績 .....	8
(5) フードバンクによる支援 .....	8
(6) 法人後見事業 .....	9
(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 .....	9
(8) 生活困窮者自立支援事業 .....	10
(9) 「こども食堂ネットワークかぬま」との連携 .....	10
(10) ひきこもり家族会 .....	10
(11) ひきこもり関連事業への参加 .....	11
(12) 鹿沼市生活再建応援事業 .....	11

## III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進	
(1) 第3期地域福祉活動計画の推進 .....	12
(2) 地域の主体的な活動促進 .....	12
(3) 地区社協間の連携 .....	13
2. 鹿沼市みまもり隊の支援 .....	13
3. 移送サービス事業 .....	13

<b>IV ふれあいのまちづくり</b>	
1. ボランティアの発掘と育成	
(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり .....	14
(2) ボランティア講座の開催と活動促進 .....	14
(3) ボランティア団体等への支援 .....	15
(4) 福祉機材の貸出 .....	16
(5) 善意銀行の運営 .....	17
2. ふれあいの心の育成	
(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進 .....	17
(2) YouTube の配信・・・「CAMP CAMP ちゃんねる」 .....	18
(3) 各種相談・連絡件数 .....	18
<b>V 災害対策事業</b>	
1. 令和3年度大雨災害の対応 .....	19
2. 研修・会議等への参加 .....	19
3. 市事業への協力・連携 .....	19
<b>VI 介護と自立支援</b>	
1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等） .....	20
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス） .....	20
(3) 通所介護事業（デイサービス） .....	21
2. 心配ごと相談事業（介護相談）の実施 .....	21
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス） .....	22
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業 .....	22
<b>VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営</b> .....	23
<b>VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営</b> .....	24
<b>IX 高齢者福祉センターの運営</b> .....	26

---

**<参考資料>** .....

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. 会費（年度別状況）            | 27 |
| 2. 総合福祉センターの利用状況        |    |
| 3. 社会福祉大会表彰受賞者          |    |
| 4. ボランティアセンター登録団体       |    |
| 5. 共同募金の状況              |    |
| 6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況   |    |
| 7. 障がいサービスの提供状況         |    |
| 8. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表 |    |

## I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

### 1. 法人運営の確立

#### (1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
4月13日	臨時理事会 (第212回)	11名	(1)法人後見事業における不適切な事務処理問題について(報告) (2)法人後見事業における被後見人への補償について
5月28日	理事会 (第213回)	13名	(1)令和3年度第1次補正予算の専決処分について(報告) (2)心配ごと相談所設置規程の廃止の専決処分について(報告) (3)会長及び常務理事の職務の執行状況について(報告) (4)法人後見事業における使途不明金問題(中間報告)について(報告) (5)令和2年度事業報告の承認について (6)令和2年度収支決算の承認について (7)令和3年度第2次補正予算について (8)~(22)評議員候補者の推薦について (23)~(35)理事候補者の推薦について (36)監事候補者の推薦について (37)監事候補者の推薦について (38)令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について (39)第185回定時評議員会の開催について
6月17日	理事会 (第214回)	14名	(1)会長の選定について (2)副会長の選定について (3)常務理事(業務執行理事)の選定について (4)評議員選任・解任委員の選任について
6月17日	定時評議員会 (第185回)	9名	(1)令和2年度事業報告の承認について (2)令和2年度収支決算の承認について (3)令和3年度第2次補正予算について (4)~(16)理事の選任について (17)監事の選任について (18)監事の選任について
7月28日	臨時理事会 (第215回)	14名	(1)法人後見事業の不祥事における職員の不利益処分の決定について (2)法人後見事業における被補助人への補償について (3)職員給与規程の一部改正について (4)職員退職手当規程の制定について
10月20日	理事会 (第216回)	書面議決	(1)理事候補者の推薦の件
10月27日	評議員会 (第186回)	書面議決	(1)理事の選任について
11月 1日	臨時理事会 (第217回)	13名	(1)副会長の選定について (2)鹿沼市やまびこ荘指定管理者選定結果及び今後の対応について

## I. 適切な法人運営と施設管理

12月 2日	理事会 (第218回)	11名	(1)令和3年度第3次補正予算の専決処分について(報告) (2)法人後見事業の不祥事における職員の懲戒処分(減給)の処分内容の変更について(報告) (3)会長及び常務理事の職務の執行状況について(報告) (4)令和3年度第4次補正予算について (5)社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会評議員会の開催について
12月21日	評議員会 (第187回)	12名	(1)令和3年度第3次補正予算の専決処分について(報告) (2)鹿沼市やまびこ荘指定管理者の変更について(報告) (3)令和3年度第4次補正予算について
12月22日	理事会 (第219回)	書面議決	(1)社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会職員就業規定の一部改正 (2)社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会給与規定の一部改正
12月24日	理事会 (第220回)	書面議決	(1)訪問介護事業(介護保険事業、介護予防、日常生活支援総合事業及び障がい福祉サービス(居宅介護事業)の廃止について
3月1日	理事会 (第221回)	11名	(1)令和3年度第5次補正予算の専決処分について(報告) (2)会長及び常務理事の職務の執行状況について(報告) (3)令和3年度第6次補正予算について (4)～(5)令和4年度事業計画、収支予算について (6)指定訪問介護事業運営規程の廃止について (7)指定障害者福祉サービス事業運営規程の廃止について (8)鹿沼市やまびこ荘管理及び運営規程の廃止について (9)善意銀行設置規程の廃止について (10)善意銀行運営委員会設置規程の廃止について (11)定款の一部改正について (12)定款施行細則の一部改正について (13)社会福祉金庫貸付規程の一部改正について (14)役員等賠償責任保険契約の締結について (15)～(16)評議員候補者の推薦について (17)令和3年度第2回評議員選任、解任委員会の開催について (18)第188回評議員会の開催について
3月23日	評議員会 (第188回)	12名	(1)令和3年度第5次補正予算の先決処分について(報告) (2)鹿沼市やまびこ荘指定管理者変更に伴うその後の経過(報告) (3)令和4年度事業計画について (4)令和4年度収支予算について (5)定款の一部改正について (6)令和3年度第6次補正予算について

### ②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月17日	小森基伊、黒本郁夫	令和2年度事業執行状況及び経理状況について

### ③内部監査の実施

実施日	監査人	内 容
1月26日	柏渕 浩子	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
2月 1日	柴田 貴史	事務局の帳簿等各種の管理について
2月 4日	小磯 令子	千寿荘の帳簿等各種の管理について
2月 4日	福田 史織	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について

## (2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

( ) : 前年度比

会費区分	世帯数 (件)	口数 (口)	計 (円)
普通会費 (1口 500円)	18,814	19,014	9,501,558 (3%減)
賛助会費 (1口 2,000円)	65	66	132,000 (10%減)
特別会費 (1口 3,000円)	30	34	103,000 (14%増)
団体会費 (1口 5,000円)	92	100	500,000 (11%減)
合 計	19,001	19,214	10,236,558 (3%減)

【参考資料 P27】

## (3) 不祥事への対応

法人後見事業において、担当職員により被後見人等 2名の通帳から使途不明な払戻しが行われる不祥事が発覚した。この担当職員を懲戒解雇し 2名の方には被害額を弁済した。それに続き、有識者からなる第三者委員会を設置し、再発防止対策を検討した。

## ① 使途不明金の内訳

Aさん (被後見人) 3,110,000円

Bさん (被補助人) 4,464,078円

## ② 再発防止対策検討委員会 (第三者委員会) の設置

委員 5名 (弁護士・司法書士・社会福祉士・金融機関関係者・行政職員)

日程、内容等は下記のとおり

日程	内容
6月16日	・使途不明金問題の経過報告について ・今後の進め方について
7月15日	・使途不明金問題の経過報告について ・法人後見事業の課題について ・具体的な対応案について
8月5日	・使途不明金問題の経過報告について ・答申案の検討について
8月24日	・会長への答申提出

## 2. 効率的で適正な施設管理・運営

### (1) 総合福祉センターの管理運営

ボランティア・各種登録団体・施設等に会議室や機材を無償貸出しすることにより、施設の有効活用を図った。また、利便性や安全性を担保しながら、感染症対策や変化していく利用者ニーズに対応した福祉活動拠点に相応しい効率的な運営に努めた。

施設管理においては、竣工後34年が経過するなかで、建物や設備の老朽化に伴う不具合が生じることもあるが、安全かつ安定した施設運営を行うため、予算の範囲内で計画的に修繕を行い、1階廊下照明修繕、生きがい広場照明修繕、福祉活動の広場照明修繕等を行い、適正な保守管理に努めた。

#### <会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	22	126	28	146	10	67	60	339
中会議室	291	296	291	296	25	337	607	929
大会議室	81	1,407	76	1,156	14	359	171	2,922
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	32	250	35	229	25	319	92	798
生きがい広場	83	701	62	383	11	155	156	1,239
合計	509	2,780	492	2,210	85	1,237	1,086	6,227

※ 新型コロナウイルスまん延防止等重点措置・緊急事態宣言により 8/8～9/30、1/27～3/21 貸出中止。

【参考資料 P27】

#### <団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数（日）
鹿沼市ボランティア連絡協議会	0
つくし会	0
鹿沼市老人クラブ連合会	234
合計	234

## II. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

### 1. 福祉啓発の充実・強化

#### (1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

号数	発行日	主な掲載内容
第 232 号	6 月 25 日	◇「募金百貨店プロジェクト」の紹介 ◇令和 3 年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇令和 2 年度事業報告及び決算報告 ◇各講座、フードバンクなどのお知らせ
第 233 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇新評議員、新役員（理事・監事）紹介 ◇コラム ヤングケアラー（介護するこどもたち）NO.2 ◇「中央地区ささえあいボランティア活動」のご紹介
第 234 号	12 月 25 日	◇令和 3 年大雨災害義援金の報告 ◇子ども食堂の紹介、フードバンクの募集 ◇善意銀行寄附の報告 ◇各講座、勉強会の募集
第 235 号	3 月 25 日	◇セラピードッグに寄附して応援 ◇福祉のチカラ大賞 ◇生活相談・支援センター「のぞみ」の紹介 ◇令和 3 年度赤い羽根共同募金運動結果報告 ◇令和 3 年度社協会員・会費のご報告

#### (2) 第 48 回鹿沼市社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を最小限にした形で大会を実施した。

また、タレント・落語家の山田たかお氏を講師に迎え「笑いは健康・長寿のもの」というテーマで講演会を実施した。

表彰状・感謝状贈呈者の内訳

- ① 大会会長表彰受賞者（合計 2 名・6 団体）
  - ・社会福祉功労者 2 名・6 団体
- ② 大会会長感謝状受賞者（合計 14 名・3 団体）
  - ・自立更生者 2 名
  - ・社会福祉推進者 7 名
  - ・善行協助者 2 名
  - ・篤行者・団体 3 名・3 団体

【参考資料 P27】



## II. 総合的な福祉事業の推進

### (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

コロナの影響により各表彰部門における代表者のみが栃木県民のつどいに参加し、以下の表彰を受けた。

#### ◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和3年8月23日(月)

会場 栃木県総合文化センター 特別会議室

- ① 栃木県知事表彰受賞者
  - ・母子家庭等支援功労者 1名
  - ・共同募金運動協力団体又は協力者 1名
- ② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者
  - ・社会福祉施設・団体関係功労者 54名
- ③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者
  - ・共同募金功労者 3名

【参考資料 P28】

### (4) 米寿記念品の贈呈

満88歳(昭和8年4月2日～昭和9年4月1日の生まれ)を迎えられた高齢者に、赤い羽根共同募金より記念品を郵送にて贈呈し米寿祝として実施した。

◇贈呈者数：552名

### (5) 啓発物品の配布等

#### ①赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子的配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、赤い羽根共同募金運動の啓発や交通安全を目的として赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子を配布した。

◇配布数：769個

## 2. 関連団体等の育成と連携

### (1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

区分	支援団体数(団体)	金額(円)
老人福祉団体支援	1	30,000
障害児・者福祉団体支援	5	150,000
母子・父子福祉団体支援	2	180,000
ボランティア団体支援	1	200,000
その他の福祉団体	5	610,000
合計	14	1,170,000

(2) 市関係部署との連携

サンタ DE メリークリスマス事業や中学校入学応援事業において鹿沼市の障がい福祉課、福祉事務所、教育委員会との連携を図り事業を展開した。

<サンタ DE メリークリスマス事業実績>

援助対象	援助内容	対象数(人)	単価(円)	金額(円)
① 在宅重度知的障害児・者	クリスマスケーキ	32	3,600	115,200
② 生活介護施設通所者	チョコレート	132	1,100	145,200
③ あおば園通所児童	おもちゃ券	130	1,000	130,000
合 計		294		390,400

※なお、①については、鹿沼中央ロータリークラブの協力を受けてお届けした。

<中学校入学応援事業実績>

援助対象	援助内容	申請数(人)	金額(円)
① 準要保護世帯のうち小学校6年生がいる世帯	鹿沼共通商品券10,000円とお米等の配布	73	730,000

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付実績

(令和4年3月31日現在)

資金種類	相談件数	借入れ申請		貸付決定		貸付否決		
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
総合支援資金	生活支援費	3	1	450,000	0	0	1	450,000
	住宅入居費	3	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	2	2	4,320,000	0	0	2	4,320,000
	緊急小口資金	5	0	0	0	0	0	0
コロナ特例	緊急小口資金	265	255	49,130,000	248	47,730,000	7	1,400,000
	総合支援資金	219	211	110,960,000	210	110,510,000	1	450,000
	〃 (延長)	100	98	55,200,000	98	55,200,000	0	0
	〃 (再貸付)	224	178	98,250,000	176	97,200,000	2	1,050,000
教育支援資金	教育支援費	7	4	5,426,000	4	5,316,000	0	0
	就学支度費	4	2	893,000	2	726,000	0	0
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0
合 計		832	751	324,629,000	738	316,682,000	13	7,670,000

## II. 総合的な福祉事業の推進

### (2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
26	512,000

徴収不能欠損した件数 (件)	徴収不能欠損金額 (円)
10	267,000

償還指導	督促発送 (回)	面接 (回)	訪問 (回)	電話 (回)	住所照会 (件)
	3	0	0	3	18

貸付中債権数	貸付債権数 (件)	貸付金額 (円)
	85	1,802,000

### (3) 赤い羽根一時給付金

対象	単価	給付人数合計
生活に困窮している方	5,000 円分商品券	66 名

### (4) 災害等見舞金支給実績

区分	件数 (件)	単価 (円)	金額 (円)
風水害 (半壊)	0	5,000	0
風水害 (流出)	0	10,000	0
風水害 (床上浸水)	0	5,000	0
風水害 (弔慰金)	0	10,000	0
火災 (半焼)	1	10,000	10,000
火災 (全焼)	8	20,000	160,000
火災 (半壊)	0	5,000	0
火災 (全壊)	0	10,000	0
火災 (弔慰金)	2	10,000	20,000
合計	11	-	190,000

### (5) フードバンクによる支援

市民の方々から寄付していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

	件数 (件)	米 (kg)	食料 (kg)
食品の受領	408	3,940	2,897
食品の配布	465	3,640	2,698

(6) 法人後見事業

平成26年度より実施していた法人後見事業において不祥事が発覚したため、宇都宮家庭裁判所等関係機関と協議の結果、受任していた全ケースを辞任し、弁護士に引き継ぐこととなった。

○辞任ケース内訳

類型		受任件数 (件)
内訳	後見	7
	保佐	7
	補助	2
合計		16

(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

生活支援員の養成を目的にした、講座はコロナの影響により開催を中止した。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績>

令和4年3月31日現在 (単位: 件)

問合せ	22
初回相談	30
相談援助件数	2,924
合計	2,976

<契約実績>

令和4年3月31日現在 (単位: 件)

R2年度契約総数	R3年度新規契約数	R3年度解約数	現契約数
85	8	4	89

## II. 総合的な福祉事業の推進

### (8) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。家計相談員を配置することにより、より幅広い相談に対応出来る体制づくりに努めた。

<相談対応実績>

令和4年3月31日現在

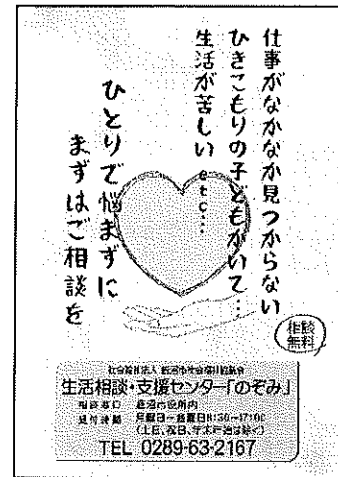
相談件数：324件（うち就労者数：30名）

活動内容

(延件数)

相談内容	件数(件)
病気や健康	3
住まい	7
収入・生活費	263
家賃やローン	18
税や公共料金支払い	7
債務	5
仕事探し、就職	9
仕事上の不安	0
地域と関係	0
人間関係	4
子育て、介護	1
引きこもり、不登校	2
DV、虐待	0
食べるものがない	3
その他	2
合計	324

面接	訪問	関係機関同行	プラン作成
1,414	309	135	45



### (9) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携

市内にある子ども食堂で組織する「子ども食堂ネットワークかぬま」定例会へ参加及び各種運営の支援を行った。また、生活困窮世帯に対する支援の一つとして「無料食事券」の提供を行った。

### (10) ひきこもり家族会（※コロナの影響により9月、2月、3月は中止）

引きこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。（単位：名）

開催日	会場	参加者数(内関係者)
1 令和3年 4月15日	総合福祉センター	6 (4)
2 令和3年 5月20日	総合福祉センター	4 (2)
3 令和3年 6月17日	総合福祉センター	7 (2)
4 令和3年 7月15日	総合福祉センター	4 (4)
5 令和3年 8月19日	犬カフェまいら	5 (4)
6 令和3年10月21日	総合福祉センター	8 (4)
7 令和4年 1月20日	総合福祉センター	5 (4)
合計		39 (24)

(11) ひきこもり関連事業への参加

ひきこもり協議会・・・・・・8回実施

※コロナの影響により9月、1月～3月は中止

※ひきこもり協議会とは、鹿沼市内において「ひきこもり」の支援を行っている団体や関連職員が情報交換、ネットワークづくり、ケース共有をすることを目的に任意で集まっている団体の事。

(12) 鹿沼市生活再建応援事業

鹿沼市から委託を受け、コロナ禍の影響により生活が困窮した世帯に対する生活福祉資金（特例貸付）の申請世帯を対象として、鹿沼市共通商品券を交付した。

基本額 1世帯 50,000円分

加算額 未就学児のいる世帯 3,000円分 小中学生のいる世帯 5,000円分

高校生がいる世帯 10,000円分

交付件数 256世帯 12,700,000円

うち加算件数 未就学児世帯 47名 141,000円、小中学生世帯 63名 315,000円、  
高校生世帯 32名 320,000円

## Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

### 1. 地区社協の活動支援と連携促進

#### (1) 第3期地域福祉活動計画の推進

平成30年度に策定した第3期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度H30～R4年度）に基づき、市内17地区の地区社協が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

コロナの影響もあり、思うような活動が出来なかったが、地域の実情把握などについてコミセン職員と連携を図った。

#### <補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	100,000
中央地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	100,000
南摩地区福祉活動推進協議会	サロン事業・環境美化事業	35,000
永野地区福祉活動推進協議会	高齢者介護予防事業	100,000
合 計		335,000

#### (2) 地域の主体的な活動促進

市内の地区社協活動を支援するために助成金を交付したが、コロナの影響で事業を縮小又は中止する地区もあった。

#### <地区社協への助成金内訳>

地区社協名	例年実施している主な事業	助成金額（円）
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,016,000
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,210,000
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,412,000
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業 ◇友愛訪問	1,569,000
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ゲートボール大会	502,000
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,434,000
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	370,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	276,000

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇ホットサロン事業	425,000
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇ふれあい祭敬老会 ◇そば打ち教室	844,000
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,672,000
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	570,000
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇高齢者招待事業	629,000
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇敬老会事業	583,000
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあいサロン	358,000
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇友愛訪問	341,000
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇世代間交流事業	416,000
合 計		13,627,000

(3) 地区社協間の連携

7月12日菊沢コミュニティセンターにおいて17地区社協合同連絡会議を開催し、中央地区、南押原地区、菊沢地区の活動事例の発表と各地区の活動について意見交換を実施した。

2. 鹿沼市みまもり隊の支援

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内17地区において見守り・相談活動を実施した。また、みまもり隊員向けの研修を実施した。(北押原、板荷、南摩)

見守り・相談延べ回数(鹿沼市全体): 40,655回

3. 移送サービス事業

日常生活においてさまざまな事情により、公共交通機関を利用できない市民が、良好な日常生活を送るため各地区のボランティアによる移送サービスを実施した。

地区名	加蘇地区	西大芦地区	南押原地区	栗野地区	粕尾地区	永野地区	清洲地区	合計
ボランティア登録者数	68人	262人	46人	81人	60人	96人	50人	663人
利用登録者数	40人	135人	88人	138人	119人	51人	25人	596人
ボランティアによる移送回数	25回	27回	37回	54回	68回	56回	31回	298回
コミセン職員による移送回数	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	1回
延べ運行回数	25回	28回	37回	54回	68回	56回	31回	299回



## IV. ふれあいのまちづくり

コロナ禍においても感染予防対策を図りながら中高生ボランティアスクールの開催や学校福祉体験の実施、ZOOMの使い方講座等を行い、工夫をしながら市民の福祉意識の向上に努めた。

### 1. ボランティアの発掘と育成

#### (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり

「第19回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援については、コロナの影響で中止となった。

#### (2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をととしてボランティア育成に努めた。

##### ①手話講座の開催

講座名	回数(回)	受講者数(名)		備考
		延べ人数(名)		
初めての手話講座 (初級)	7/14～ 8/4	4	7 24	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会
初めての点訳講座 (初級)	10/7～ 12/9	10	3 28	講師：点訳グループ「桐」
「ZOOMを使ったオンライン会議の開き方」講座	7/9	1	9	講師：とちぎボランティアNPO ぽ・ぽ・ら
第2回「ZOOMを使ったオンライン会議の開き方」講座	8/27	1	8	講師：とちぎボランティアNPO ぽ・ぽ・ら
合計		16	79	

##### ②学校での体験学習開催

小中高校からの依頼に応じ、職員が講師となり校内で体験学習を開催した。

日時	学校名	内容	参加者数(名)
11月10日	鹿沼商工高等学校	福祉講話	491
9月15日	西中学校(3年生)	車いす・視覚障がい体験	95
11月26日	南押原中学校(全校生)	1年生：車いす体験 2年生：高齢者疑似体験 3年生：認知症サポーター養成講座	82
2月17日	加蘇中学校(1年生)	車いす体験、講話	21
7月2日	中央小学校(4年生)	車いす・視覚障がい体験	88

③学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区 分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	18校 ( 54回)	18校 (29回)
中学校	3校 ( 19回)	3校 (20回)
高等学校	0校 ( 0回)	0校 ( 0回)
合 計	21校 ( 73回)	21校 (49回)

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

(3) ボランティア団体等への支援

①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等 14 団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団 体 名	援助金該当事業	交付額(円)
1	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動	100,000
2	栃木県シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会福祉施設への慰問活動 (アフリカダンス)	85,000
3	朗読グループいずみ	会員のスキルアップ研修	90,000
4	デイジーこだま	市広報等のデイジー版製作活動	30,000
5	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	介護・福祉ボランティア活動 (踊り・健康体操等)	50,000
6	介護服リフォーム “ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣服リフォーム等	30,000
7	点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流会、点字指導等	50,000
8	お話ボランティアネットワークかぬま	会員のスキルアップ研修、傾聴活動	50,000
9	NPO 傾聴ボランティアありのまま	高齢者施設等での傾聴活動	50,000
10	フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	70,000
11	NPO 法人 レインボー	親子交流活動 (のびのびすくすく)	100,000
12	鹿沼地区手話通訳者連絡会	会議やイベント等での手話通訳活動、手話講座開催	20,000
13	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者のための手話講習会等	100,000
14	要約筆記サークルいちご	聴覚障がい者に PC 等で会議内容を要約する活動	61,250
	合 計		886,250

#### IV. ふれあいのまちづくり

##### ②福祉教育学校助成金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、赤い羽根共同募金を財源とした学校助成金配分金を6校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉体験学習	61,000
2	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習	62,000
3	鹿沼市立東小学校	福祉体験学習	100,000
4	鹿沼市立中央小学校	福祉体験学習	80,000
5	鹿沼市石川小学校	福祉体験学習	100,000
6	鹿沼市北犬飼中学校	福祉体験学習	60,000
合 計			463,000

##### (4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	116	着ぐるみ	6
高齢者疑似体験セット (大人)	6	綿菓子機	7
高齢者疑似体験セット (小人)	0	ポップコーン機	2
アイマスク	0	かき氷機	9
白杖	20	焼き芋機	3
パソコン	2	きね・うす	2
スクリーン	7	水槽	2
プロジェクター	26	発電機	1
マイク・スピーカー	3	ドラムコード	3
机	5	クーラーボックス	0
椅子	0	テント (1間×2間)	0
ベンチ	0	テント (2間×3間)	0
ボランティア号 (ハイエース)	3	タープテント	1
ボランティア号 (シエンタ)	26		
ポッチャ	1	合計	251

(5) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

< 預託金品取扱実績 >

単位：件、円

預託金 払出し先	2年度繰越金	3年度預託		3年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指定なし	2,332,800	30	1,287,672	1	886,250	2,734,222
社会福祉団体	0	17	7,297,273	16	2,297,273	5,000,000
預金利息	0	2	30	1	30	0
合計	2,332,800	49	8,584,975	18	3,183,553	7,734,222

預託物品 払出し先	物品	提供先
		老眼鏡 50 個 アイソレーションガウン 250 枚 手編みマフラー 82 本 お菓子 44 箱



↑ 和光メガネ 様より



↑ 72カントリークラブ 様より

2. ふれあいの心の育成

(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進

NPO 法人とちぎ協働デザインリーグが主催する「つながり回復を考える会」に参加。「コロナ禍においてどのように地域活動やボランティア活動を進めるか」について記載した冊子「コロナで学んだつながり回復 Q&A」の作成に携わった。また、一般社団法人コブルが主催した「鹿沼市地域資源ガイド」(通称：ひきこもり支援マップ) づくりにも参加し、関係機関との連携を図ることが出来た。



IV. ふれあいのまちづくり

(2) YouTube の配信…「CAMP CAMP ちゃんねる」

昨年度にスタートした「CAMP CAMP ちゃんねる」も本年度は計4回配信をすることができた。来年度以降は、キャンプという枠を超えた新たな企画にもチャレンジをしていく予定。



(3) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

<相談・連絡実績>

(単位：件)

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合計
相談延件数	26	868	2,976	551	4,421

## V 災害対策事業

コロナ禍において災害支援のあり方も感染予防や人的移動を制限しながら行うことが全国各地の被災地で一般的になった。被災地への支援も共同募金を通じた義援金や災害支援物資の提供といった後方支援を鹿沼市青年会議所や市内ボランティア団体と共同して実施した。災害支援のための募金運動についてはボランティアや青年会議所と協働で実施した。

### 1. 令和3年大雨災害の対応

令和3年7月及び8月に発生した大雨災害の被災地域への支援を行った。

#### (1) 被災地支援の募金運動の実施

被災地支援を目的とした募金運動を展開し、総合福祉センター窓口へ募金箱を設置した他、鹿沼青年会議所等を通じて市内の加盟飲食店にも募金箱を設置した。集まった募金は被災地への義援金として共同募金会を通じて送られた。

#### (2) 被災地支援の物資の提供

北広島町社会福祉協議会へ大雨による床下、床上被害に対し、ボランティア活動をする時に大量のタオルと布等が必要になるとの支援物資の募集の呼びかけに、鹿沼市ボランティア連絡協議会及び災害ボランティアチームかぬまの会員から集めたタオル類を提供した。

##### ① 協力団体

鹿沼市ボランティア連絡協議会、災害ボランティアグループチームかぬま

##### ② 提供物資

タオル類 48箱

##### ③ 備考 令和3年9月6日に提供した



鹿沼青年会議所との募金箱設置



被災地支援のためのタオル発送

### 2. 研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

#### ① 災害ボランティアセンター実践力強化プロジェクトとちぎ（主催 栃木県社会福祉協議会）

参加日：5月24日 / 6月18日 / 7月28日 / 9月10日 / 11月4日

12月10日 / 3月10日

#### ② 災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）

とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議

参加日：6月4日

#### ③ 災害ボランティアセンター運営コーディネーター初級研修（主催 栃木県社会福祉協議会）

参加日：2月22日（1日目）、3月1日（2日目）

### 3. 市事業への協力・連携

市、市教育委員会、（公財）かぬま文化・スポーツ振興財団が主催した「鹿沼まるごと博物館 第7回企画展～災禍の祈り～」に災害支援等に関する写真、映像の資料提供等を行った。

## VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染予防に努めながら介護予防・自立支援事業に取り組み、ねたきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに障がい者のための居宅介護事業を推進した。

### 1. 介護保険事業の推進

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに高齢者支援センター（地域包括支援センター）から介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

##### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	932
介護予防支援	221
合計	1,153

【参考資料 P30】

##### <介護区分別実利用者数>

令和4年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	5	11	23	21	14	11	5	90

#### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等をとおし、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。なお、今年度で訪問介護は事業を終了した。

##### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
介護支援	1,996
介護予防支援	780
合計	2,776

【参考資料 P30】

##### <介護区分別実利用者数>

令和4年3月31日現在（単位：名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	3	5	3	3	2	2	0	18

(3) 通所介護事業（デイサービス）

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、高齢者施設で相次ぐ感染が報告されたが、検温・手洗い・消毒・換気など感染対策を徹底しながら利用者が1日楽しく過ごせるよう配慮し、感染者を出すことなく営業ができた。

さらに、新規利用者の受入、利用回数の増と積極的に営業したことにより、実績は昨年度より増収となった。

また、少しでも自宅で自立した生活が送れるように、家族の負担を軽減できるようなサービスを継続的に行えるよう努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ回数)
介護支援	1, 771
介護予防支援	331
合 計	2, 102

【参考資料 P30】

◇年間実施日数.....247日

◇1日あたりの平均利用者...8.5人

◇協力ボランティア数.....個人数：1人

散髪サービスのみ（年間実施回数 22回 利用者64名）

<介護区分別実利用者数>

令和4年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	3	3	3	7	3	3	2	24

<年間行事実績>

月 日	行 事 内 容	参加者数(名)	
5月 3日～7日	菖蒲湯	26	
7月	1日～5日	七夕	30
	12日・15日	ブルーベリー狩り	19
	26日・29日	オリンピック	22
8月 5日・6日	納涼祭	23	
9月 20日	敬老会	13	
10月	14日・15日	運動会	19
	21日	さつま堀	9
11月 4日・5日	紅葉狩り（運動公園）	18	
12月	1日～28日	ゆず湯	142
	22日～24日	クリスマス会 ※鹿沼市老人クラブ	27
2月 2日～4日	豆まき	28	
3月 3日・4日	ひな祭り	14	





▲ 秋の大運動会



▲ クリスマス会

## 2. 心配ごと相談事業(介護相談)の実施

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績(延人数)>

令和4年3月31日現在(単位:名)

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
30	2	1	1	1	3	3	41

## 3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密にし、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

### (1) 居宅介護事業(ホームヘルプサービス)

障がい者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。なお、居宅介護事業については今年度で事業を終了した。

令和4年3月31日現在

実利用者数(名)	利用回数(回)
居宅介護等	658
同行援護	177

### (2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

本人や家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会等に参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。

令和4年3月31日現在

サービス名	実利用数(件)
指定特定相談支援	68
指定障害児相談支援	5

## VII 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。この一年間は、コロナ禍のため、地域や社会との交流を十分に行うことが出来なかった。そのため、敷地内の整備をし、花やキノコなどを植え、利用者が楽しめるようにし、心身の健全に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動にもより一層、力を入れた。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、3名の該当者があった。

4期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

### (1) 利用者の状況

- ◇利用者数 43名 令和4年3月31日現在
- ◇年間異動者数 8名（新規入所3名、退所5名）
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 3名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	45	45	46	45	45	45	44	43	42	41	42	43
緊急一時避難者	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0

### (2) 年間行事実績

月	日	行事内容	利用者参加者数
4月	2日	花見会	全員
	28日	日帰りドライブ	11名
6月	2日	やちよ会奉仕作業	5名
	22日	日帰りドライブ	10名
	24日	お楽しみ会	全員
7月	29日	納涼祭(利用者家族 7名)	全員
10月	26日	日帰りドライブ①	5名
	28日	日帰りドライブ②	5名
11月	4日	敬老式	全員
	8日	日帰りドライブ(塩谷方面)	2名
	25日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供	全員
12月	9日	焼き芋会	全員
	14日	年越し焼きそば会	全員
	23日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	6日	新年祝賀会	全員
2月	3日	節分豆まき・お楽しみ会	全員

### (3) 地域等との交流

◇今年度は、コロナ感染予防のため、市内の幼稚園・保育園、小中学校及び高校生との交流や受け入れ等を行うことが出来なかった。また、例年地域老人と共に行っている交流会も開催することが出来ず、施設の状況を地域に知ってもらい連携を深めることもままならなかった。一般のボランティア団体等の訪問・交流もできない状況だった。来年度にむけた計画は、引き続き行っていく。

## VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりの個性と能力に沿った支援を基本に高齢化に伴う支援を加味し、利用者が安全に楽しく生活できるよう余暇支援の充実を図った。また、心身ともに健康な生活が営めるよう利用者の健康維持及び体力増進に努めた。

さらに、公的施設としての役割を認識し事業を展開するとともに、職員の資質向上及び資源の有効活用を図り、効率的な管理運営に努めた。

なお、やまびこ荘の運営については、指定管理者の変更により令和3年度末で終了となった。

### (1) 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護（通所）	地域活動支援センターⅡ
定員 30名	定員 6名	定員 10名	定員 5名
利用者数 25名	実利用者数 5名 (延利用数 589回)	実利用者数 7名 (延利用数 596回)	実利用者数 2名 (延利用数 245回)

### (2) 年間行事实績

月 日	行事内容	参加者数(名)
4月 1日	お花見ドライブ	23
6月	8日 総合避難訓練	30
	8日 朗読グループいずみ(5名)	30
	29日 利用者健診	25
7月	16日 やまびこ祭り(保護者役員のみ)	25(保護者6)
	29日 衣類販売	26
9月 24日	シルバー大学校鹿沼支部ボランティア(草取り)	9
10月	12日 総合避難訓練(消防立会い)	31
	21日 歯科検診	25
	26日 衆議院議員総選挙期日前投票	12
11月	9日 朗読グループいずみ(5名)	30
	25日 そば商組合訪問	27
	30日 紅葉見学	23
12月 22日	クリスマス会+食事会	33

月 日		行事内容	参加者数 (名)
令和4年 2月	3日	節分豆まき	27
	15日	食事会	33
3月	8日	食事会	31
	25日	職員お別れ会	27
	28日	職員お別れ会	28
例月ボランティア	東芝ライテックユニオン(誕生者へカードや花プレゼント)、ボランティアいずみ(紙芝居ほか) かぬま文化・スポーツ振興財団(健康体操)、日本生命保険相互会社(一輪挿し生け花)、 各種団体余暇ボランティア(カラオケ、フラダンス、マジックショーほか)		
定期行事	◇地域奉仕活動(空き缶ごみ拾い)年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練		

### (3) 保護者との連携

保護者会(総会、役員会、懇談会)を通し、保護者との連携と理解を深めた。また、保護者から「コロナ感染症対策の徹底と外部からの交流が減った分を食事の充実で補って欲しい」との要望もあり、利用者の希望に沿った各種のテイクアウト等を実施し、気分向上を図った。

## IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

## (1) 年間利用状況

開所日数 (日)	利用者数 (人)	利用料収入 (円)
245	20,726 (1日平均 85)	3,666,700

※ 利用者内訳 (人)

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
16,607	527	851	1,708	1,033	20,726

【参考資料 P31】

## (2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内 容	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)
健康体操講座	0	0
いきいき体操講座	0	0
らくらくヨガ講座	0	0
たのしい折り紙講座	0	0
サプライズイベント	3	420
合 計	3	420

## (3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内 容	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)
自主クラブの利用	25	354
機能回復訓練の実施	0	0
合 計	25	354

## (4) 改良、改善への取組み

- ・お楽しみ会の代替として、季節 (お盆・ハロウィン・クリスマス) に合わせたサプライズイベントを企画し、利用者の皆様に楽しんでいただいた。



---

## 参考資料

---

1. 会費（年度別状況）
  2. 総合福祉センターの利用状況
  3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県民福祉のつどい）
  4. 関連ボランティア
  5. 共同募金の状況
  6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  7. 障がいサービスの提供状況
  8. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表
-

1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
普通会費 1口 500 円	20,434	10,224,198	20,112	10,052,290	19,527	9,760,322	19,505	9,768,415	19,014	9,501,558
賛助会費 1口 2,000 円	102	204,000	68	136,000	70	140,000	73	146,000	66	132,000
特別会費 1口 3,000 円	44	132,000	43	129,000	28	85,000	30	90,000	34	103,000
団体会費 1口 5,000 円	79	395,000	83	415,000	80	400,000	113	565,000	100	500,000
合 計	20,659	10,955,198	20,306	10,732,290	19,705	10,385,322	19,721	10,569,415	19,214	10,236,558

2. 総合福祉センターの利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
延べ件数 (件)	1,360	1,287	1,272	893	1,086
延べ人数 (人)	11,687	10,999	11,098	5,224	6,227

3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

(1) 第 48 回鹿沼市社会福祉大会

①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名	
社会福祉功労者・団体	福田 まち子	小林 福代
	災害ボランティアグループ チームかぬま	
	南摩ふれあいサロン (西沢楽しい会)	
	南摩ふれあいサロン (おしゃべりおたのしみ会)	
	上殿町ふれあいサロン さといもの会	
	樺山・日光奈良部さといもの会	
	開運町サロン	

②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
自立更生者	白川 界男	小西 猛	
社会福祉推進者	福田 恭久	古沢 康夫	駒場 俊雄
	飯野 ふみえ	福田 栄	小保方 敏雄
	手塚 玲子		
善行共助者・団体	細畑 昌代	廣田 孝	
篤行者・団体	株式会社 安田測量	有限会社 ならぶ 奈良部實	
	田谷 好史	足立区民生・児童委員協議会	
	太田 エイ	高梨 修一	



(2) 第27回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名
母子家庭支援功労者	大出 弘子
共同募金運動協力団体又は協力者	星野 晴男

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
社会福祉施設・団体関係功労者	高橋 一元	齋藤 陽子	塩田 武志
	上澤 順子	今井 寿子	石川 忠正
	藤沼 富美	紺野 勝寛	大橋 光江
	大貫 良明	嶋田 修一	木村 恵美子
	樞淵 孝子	石川 節子	高野 徹雄
	鈴木 茂	坂口 亨子	松嶋 晴彦
	橋本 博子	齋藤 弘子	相馬 陽子
	中荒井 弘美	田崎 照子	岩出 勝美
	柳 光子	渡邊 裕佳里	川田 絵美
	大塚 清加	佐藤 真紀	福田 知里
	山越 友美	本田 浩子	石川 怜史
	伊藤 浩子	齋藤 学	川田 一匡
	大貫 祐作	岩渕 好恵	大橋 直哉
	神永 美恵子	大和田 佑樹	西山 紀子
	関口 佐智子	日向野 美和	藤沼 るみ子
	高橋 さおり	鈴木 彩美	御地合 啓子
	和氣 祐司	清水 綾子	大貫 栄子
	小久保 愛	鳥取 久弥	小室 揚子

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	鈴木 貢	秋澤 久	須藤 宏
75年記念特別顕彰	山菅 昭八	黒浜 利男	吉井 和男
	齋藤 英雄	夏井 洋一	橋口 勝代
	多田 敬子	神山 壽子	

4. ボランティアセンター登録団体

No.	名 称	主な活動内容
1	まざあぐらす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演
2	水の輪会	精神保健ボランティア
3	ボランティアみなみ	特養ホーム・独居老人との交流
4	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流
5	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加
6	鹿沼そば商組合	地域福祉活動
7	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手
8	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障害者への服飾支援
9	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流
10	ボランティアグループ「あった会」	高齢者住居周りの修繕活動
11	ボランティアふれあい	特別養護老人ホーム奉仕
12	要約筆記サークルいちご	要約筆記ボランティア活動
13	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流
14	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作
15	ボランティアグループ春風	舞踊、唄、三味線
16	フラダンスとりあえず	福祉施設慰問、地域イベント活動
17	栃木シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動
18	NPO 傾聴ボランティアチーム“ありのまま”	傾聴ボランティア
19	ボーイスカウト鹿沼第1団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
20	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
21	立正佼成会鹿沼教会	社会奉仕活動
22	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動
23	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等
24	災害ボランティアチームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動
25	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ
26	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動
27	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問
28	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)
29	にほんご FC	外国籍市民の日本語学習等
30	鹿沼精神保健福祉会(鹿沼やしお会)	精神保健の相談等
31	ボランティア「きよす」	高齢者サロン、小学生の登下校見守り等

## 5. 共同募金の状況

(単位：円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
A 募金	4,748,000	4,464,000	4,727,000	4,156,000	4,156,000
B 募金	10,709,000	10,562,000	9,577,000	7,958,200	7,630,678
合 計	15,470,000	15,026,000	14,304,000	12,114,200	11,786,678

A 募金：第 1 種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を経営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B 募金：第 2 種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

## 6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
ケアプラン作成	介護	73	888	105	839	94	932
	予防	13	165	28	159	23	221
ホームヘルプ	介護	22	2,353	19	2,019	10	1,996
	予防	15	1,056	17	943	8	780
デイサービス	介護	16	1,785	24	1,205	24	1,771
	予防	5	358	7	303	9	331

※ホームヘルプ事業の実利用者数は、3月末で事業終了に伴い他事業所へ移動したため人数が昨年より少なくなっている。

## 7. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
居宅介護等	6	460	8	518	5	658
同行援護	11	257	9	194	5	177
指定特定相談支援	42	※258	66	※392	73	※395

※回数の増加の原因は、令和元年より国の【モニタリング実施標準期間】の見直しで、支援の必要性の観点からモニタリングの質を高める取り扱いとなったため

※居宅介護・同行援護の実利用者数は、3月末で事業終了に伴い他事業所へ移動したため人数が昨年より少なくなっている。

# 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表

(単位:人)

区分	市内(有料)利用者				市外(有料)利用者			無料利用者				利用者合計 ④(①+②+③)	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤
	60歳以上	60歳未満	身障者・小学生	市内計①	市外	キャンプ場	市外計②	未就学児他	免除(条8)	無料計③				
12~17年度	500,498	107,029	51,566	659,093	35,722	/	35,722	/	50,028	50,028	744,843	1,808	412.0	
18年度	69,144	12,540	10,615	92,299	3,110	/	3,110	/	8,594	8,594	104,003	301	345.5	
19年度	67,798	11,437	9,978	89,213	2,684	/	2,684	/	7,620	7,620	99,517	302	329.5	
20年度	68,380	11,543	10,675	90,598	2,785	/	2,785	/	8,180	8,180	101,563	304	334.1	
21年度	68,749	9,482	10,033	88,264	2,657	/	2,657	/	8,716	8,716	99,637	302	329.9	
22年度	63,634	5,166	7,706	76,506	2,245	4,766	7,011	1,455	3,109	4,564	88,081	291	302.7	
23年度	55,889	4,109	7,244	67,242	1,968	4,171	6,139	1,278	2,996	4,274	77,655	295	263.2	
24年度	62,896	3,664	8,332	74,892	2,303	4,556	6,859	1,428	2,596	4,024	85,775	313	274.0	
25年度	63,052	3,377	8,248	74,677	2,166	4,777	6,943	1,432	2,443	3,875	85,495	314	272.3	
26年度	67,442	3,335	7,425	78,202	2,376	4,929	7,305	1,645	3,130	4,775	90,282	313	288.4	
27年度	64,094	7,400	9,153	80,647	2,528	/	2,528	1,444	3,573	5,017	88,192	301	293.0	
28年度	62,810	7,772	9,440	80,022	4,681	/	4,681	1,439	2,588	4,027	88,730	307	289.0	
29年度	57,060	7,114	8,154	72,328	5,274	/	5,274	1,204	2,087	3,291	80,893	282	286.9	
30年度	60,145	7,080	8,008	75,233	7,336	/	7,336	1,070	3,207	4,277	86,846	302	287.6	
元年度	54,329	6,606	6,829	67,764	7,810	/	7,810	1,031	5,444	6,475	82,049	283	289.9	
2年度	18,378	540	1,960	20,878	0	/	0	20	1,294	1,314	22,192	257	86.4	
3年度	16,607	851	1,708	19,166	527	/	527	57	976	1,033	20,726	245	84.6	
合計	1,404,298	208,194	175,366	1,766,980	85,645	23,199	108,844	13,446	115,605	127,737	2,003,561	6,275	307	

※ 12~21年度については、キャンプ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。

※ 27年度より、市外料金及びキャンプ場利用者区分を廃止した。